

資料2

平成28年度 教育・保育施設及び地域子ども子育て支援事業の 提供体制について

平成28年度 第2回鹿島市子ども・子育て会議
(平成29年3月9日)

1. 教育・保育施設の提供体制の確保及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の考え方

教育・保育施設の提供体制	認定こども園・幼稚園・保育所及び地域型保育事業所が設定している利用定員の総数とします。
1号認定児童 教育希望（3～5歳児）	認定こども園、幼稚園の利用定員数です。
2号認定児童 教育希望（3～5歳児）	認定こども園、幼稚園の利用定員数です。
2号認定児童 保育必要（3～5歳児）	認定こども園、保育所の利用定員数です。
3号認定児童 保育必要（1～2歳児）	認定こども園、保育所、地域型保育事業の利用定員数です。
3号認定児童 保育必要（0歳児）	認定こども園、保育所、地域型保育事業の利用定員数です。

地域子ども・子育て支援事業の提供体制	地域子ども・子育て支援事業（13事業）の確保方策については下記のとおり整理します。
1 利用者支援事業	計画当初、具体的な数値はありませんでした。実施施設においての利用者支援専門員の配置としています。
2 地域子育て支援拠点事業	子育て支援センターへ来客された人数に対して、対応できた人数とします。
3 妊婦健康診査	健診勧奨を行った結果、それを処理した人数とします。
4 乳児家庭全戸訪問事業	全乳児家庭に対する訪問件数とします。
5 養育支援訪問事業	養育が必要な家庭に対する訪問件数とします。
6 子育て短期支援事業（ショートステイ）	利用申込みに対する対応可能数とします。
7 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）	事業の進捗状況を報告します。
8 一時預かり事業	事業を行う施設での事業実績とします。 ※次回の会議で報告します。
9 延長保育事業	事業を行う施設での事業実績とします。 ※次回の会議で報告します。
10 病児・病後児保育事業	市外施設での利用実績及び事業の進捗状況を報告します。
11 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	各クラブの定員数です。
12 実費徴収に係る補足給付を行う事業	事業の実施はありませんので今回の会議では割愛します。
13 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	事業の実施はありませんので今回の会議では割愛します。

2. 計画と平成28年度（平成29年2月1日現在）の比較

【教育・保育施設の提供体制】

(1) 1号認定 【3～5歳教育標準時間認定：認定こども園・幼稚園】

3～5歳で保育の必要性はなく、教育ニーズが高い認定区分です。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

1号認定（教育希望）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	39	38	37	37	36
確保方策型 計画値	特定教育・保育施設		40	38	39	40	40
	特定地域型保育事業		0	0			
	合計	B	40	38	39	40	40
確保状況 (実績値)	特定教育・保育施設		30	30			
	特定地域型保育事業		0	0			
	確認を受けない幼稚園		15	15			
	合計	C	45	45			
過不足	量の見込み（C-A）		6	7			
	確保方策（C-B）		5	7			
進捗率	量の見込み（C/A）		115%	118%			
	確保方策（C/B）		113%	118%			

※ 特定教育・保育施設とは市より確認をうける認定こども園、幼稚園、保育所です。

※ 確保方策には確認を受けない幼稚園の定員も含まれます。

〈現在〉 1号認定を対象とする市内特定教育・保育施設は認定こども園1施設と従来制度の幼稚園1施設となります。

〈今後〉 引き続き市内2施設において充足している状況です。従来制度の幼稚園から特定教育施設への移行があれば、速やかに確認を行います。

実施状況

（平成29年2月1日現在）

市内認定こども園及び幼稚園において、教育施設を希望する需要は満たしています。今後も2施設を重点に需要に対応します

(2) 2号認定（教育必要） 【3～5歳保育認定：認定こども園・幼稚園】

3～5歳で保育の必要性はなく、教育ニーズが高い認定区分です。
 施設での教育及び教育後の預かり保育が希望です。
 対象施設は認定こども園・幼稚園となります。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

2号認定（教育希望）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	54	64	61	59	57
確保方策型 計画値	特定教育・保育施設		60	62	61	60	60
	特定地域型保育事業		0	0			
	合計	B	60	62	61	60	60
確保状況 (実績値)	特定教育・保育施設		30	30			
	特定地域型保育事業		0	0			
	確認を受けない幼稚園		30	30			
	合計	C	60	60			
過不足	量の見込み（C-A）		6	△4			
	確保方策（C-B）		0	△2			
進捗率	量の見込み（C/A）		111%	94%			
	確保方策（C/B）		100%	97%			

- ※ 特定教育・保育施設とは市より確認をうける認定こども園、幼稚園、保育所です。
- ※ 確保方策の利用定員数には市外施設も算定しております。

〈現在〉1号認定を対象とする市内特定教育・保育施設は認定こども園1施設と従来制度の幼稚園1施設となります。

〈今後〉引き続き市内2施設において充足している状況です。従来制度の幼稚園から特定教育施設への移行があれば、速やかに確認を行います。

実施状況（平成29年2月1日現在）
 市内認定こども園及び幼稚園において、両親が就労等をしているが教育施設を希望する需要はほぼ満たしています。
 教育時間が終わった後の預かり保育（延長保育）等のサービスを拡充し、今後も需要に対応します。

(3) 2号認定（保育必要） 【3～5歳保育認定：認定こども園・保育所】

3～5歳で保育の必要性がある認定区分です。施設での保育希望です。
対象施設は認定こども園・保育所となります。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

2号認定（保育必要）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	719	712	702	688	675
確保方策型 計画値	特定教育・保育施設		673	673	702	702	702
	特定地域型保育事業		0	0			
	合計	B	673	673	702	702	702
確保状況 (実績値)	特定教育・保育施設		736	736			
	特定地域型保育事業		0	0			
	合計	C	736	736			
過不足	量の見込み（C-A）		17	24			
	確保方策（C-B）		63	63			
進捗率	量の見込み（C/A）		102%	103%			
	確保方策（C/B）		109%	109%			

※ 特定教育・保育施設とは市より確認をうける認定こども園、幼稚園、保育所です。

※ 確保方策の利用定員数には市外施設も算定しております。

〈現在〉2号認定（保育必要）を対象とする市内特定教育・保育施設は認定こども園1施設と保育所14施設となります。ただし、保護者の希望により市外施設の利用もあります。

〈今後〉現在の施設利用定員数で量の見込みを確保できている状況です。

今後の計画では量の見込が減少することが考えられます。

実施状況

（平成29年2月1日現在）

市内認定こども園、保育所及び市外施設において量の見込みを上回り確保できている状況です。

今後も利用者の保育ニーズに応えられるよう努めていきます。

(4) 3号認定（保育必要）

【1～2歳保育認定：認定こども園・保育所・小規模保育等】

1～2歳で保育の必要性がある認定区分です。施設での保育希望です。
対象施設は認定こども園・保育所・小規模保育等となります。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

3号認定（保育必要1～2歳）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	454	442	436	426	417
確保方策型 計画値	特定教育・保育施設		438	438	428	428	428
	特定地域型保育事業		2	2	8	8	8
	合計	B	440	440	436	436	436
確保状況 (実績値)	特定教育・保育施設		422	422			
	特定地域型保育事業		0	0			
	合計	C	422	422			
過不足	量の見込み（C-A）		△ 32	△ 20			
	確保方策（C-B）		△ 18	△ 18			
進捗率	量の見込み（C/A）		93%	95%			
	確保方策（C/B）		96%	96%			

- ※ 特定教育・保育施設とは市より確認をうける認定こども園、幼稚園、保育所です。
- ※ 確保方策の利用定員数には市外施設も算定しております。

〈現在〉 3号認定（保育必要）を対象とする市内特定教育・保育施設は認定こども園1施設と保育所14施設となります。ただし、保護者の希望により市外施設の利用もあります。

〈今後〉 既存施設の定員見直しにより確保対策を行いたいと思います。

実施状況 (平成29年2月1日現在)
市内認定こども園、保育所及び市外施設において量の見込を確保できておらず確保方策の進捗率も96%になっています。
ただし、実際の施設の運営状況では412人の利用状況となっており、定員を超えての保育（定員の弾力化）により待機児童対策を行っています。

(5) 3号認定（保育必要）

【0歳保育認定：認定こども園・保育所・小規模保育等】

0歳で保育の必要性がある認定区分です。施設での保育希望です。
対象施設は認定こども園・保育所・小規模保育等となります。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

3号認定（保育必要0歳）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	203	198	192	190	185
確保方策型 計画値	特定教育・保育施設		200	200	190	190	190
	特定地域型保育事業		1	1	5	5	5
	合計	B	201	201	195	195	195
確保状況 (実績値)	特定教育・保育施設		168	168			
	特定地域型保育事業		0	0			
	合計	C	168	168			
過不足	量の見込み（C-A）		△ 35	△ 30			
	確保方策（C-B）		△ 33	△ 33			
進捗率	量の見込み（C/A）		83%	85%			
	確保方策（C/B）		84%	84%			

- ※ 特定教育・保育施設とは市より確認をうける認定こども園、幼稚園、保育所です。
- ※ 確保方策の利用定員数には市外施設も算定しております。

〈現在〉 3号認定（保育必要）を対象とする市内特定教育・保育施設は認定こども園1施設と保育所14施設となります。ただし、保護者の希望により市外施設の利用もあります。

〈今後〉 既存施設の定員見直しにより確保対策を行いたいと思います。

実施状況 (平成29年2月1日現在)
市内認定こども園、保育所及び市外施設において量の見込を確保できておらず確保方策の進捗率も84%になっています。
ただし、実際の施設の運営状況では169人の利用状況となっており、定員を超えての保育（定員の弾力化）により待機児童対策を行っています。

【地域子ども・子育て支援事業の提供体制】

利用者支援事業

子ども及びその保護者等が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な実施場所で情報収集と提供を行い、必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を図る事業です。

市全域を対象として地域子育て支援センターに利用者支援専門員を配置します。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

実施施設における利用者専門員配置		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	計画当初、具体的な計画値はありません。				
確保方策型（計画値）	B					
実施状況（実績値）	C	1	1			

〈現在〉月平均で41件の相談対応を行っています。

〈今後〉相談件数が増加しており、今後も更なる増加が見込まれます。

実施状況

専門員1名を設置し、利用者ニーズに対応した情報提供や助言を行っています。

地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日／年間）

対象年齢（0～2歳児）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	11,856	11,616	11,388	11,124	10,872
確保方策型（計画値）	B	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
利用状況（実績値）	C	16,768	18,057			

〈現在〉1施設で1日平均利用者50名、相談10件の対応を行っています。

〈今後〉利用者・相談件数が増加しており、今後も更なる増加が見込まれます。

実施状況

専門指導員を配置し、センターの運営・イベント・相談対応を行っています。

妊婦健康診査

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、「健康状態の把握」「計測」「保健指導」を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施します。

■量の見込みと確保方策

(単位：人、回)

妊婦		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	420	420	420	420	420
確保方策型（計画値）	B	420	420	420	420	420
利用状況（実績値）	C	393	321			

〈現在〉 H27年度発行者のうち今年度受診者130人（うち転入者5人）です。
H28年度母子健康手帳発行者230人のうち、妊婦健康診査受診者は191人（うち転入者16人）です。〔2月現在、12月受診分まで〕

〈今後〉 今後も受診票の供給確保、委託により量の見込みを確保できる体制を整備します。

実施状況

妊娠期から出産まで妊婦の体調管理や費用負担軽減を図るため、14回の妊婦健診受診票（補助券）を交付しています。
母子健康手帳交付時に、県内医療機関で妊婦健診が公費で受けられるよう受診票を交付し、すべての妊婦が県内統一検査項目の健康診査を受診できるよう医療機関に委託します。

乳児家庭全戸訪問事業

生後4カ月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行います。

■量の見込みと確保方策

(単位：人／年)

対象年齢（0歳児）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	290	290	290	290	290
確保方策型（計画値）	B	290	290	290	290	290
利用状況（実績値）	C	268	184			

〈現在〉 現在、206人の乳児家庭への訪問を依頼しており、184人実施の報告を得ています。

〈今後〉 今後も母子保健推進協議会と連携し、取り組んでいきます。

実施状況 母子保健推進協議会に委託し、各担当地区の母子保健推進員が、2～3ヶ月頃の乳児の家庭を全戸訪問しています。
4か月児健診の案内や子育てに関する情報を提供したり、養育環境等の把握に努めています。

養育支援訪問事業

養育支援が必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行い、その家庭の適切な養育の実施を確保します。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	35	40	40	40	40
確保方策型（計画値）	B	35	40	40	40	40
利用状況（実績値）	C	36	40			

〈現在〉若年妊産婦や育児不安のある産婦、養育環境に心配のある家庭などを訪問しています。また、出産した医療機関からの情報提供などによる訪問も実施しています。

〈今後〉妊娠期から切れ目ない支援を行い、安心して子育てができるようにさらなる量の見込みと確保が必要です。

実施状況

保健センターでは市保健師と県助産師会の助産師に委託し、実施しています。若年妊婦等妊娠期から支援の必要な妊婦や育児不安のある産婦や養育支援の必要な家庭へ訪問し、安心して出産、子育てができるように努めています。また、今年度より子育て支援センターにおいても2名体制で、月1、2回ほど訪問し、養育サポートを行っています。

子育て短期支援事業（ショートステイ）

保護者の病気や出張、冠婚葬祭などにより、家庭において子どもを養育することが一時的に困難になった場合、児童養護施設等で一定期間、養育・保護を行います。

■量の見込みと確保方策

（単位：人）

対象年齢（0歳～18歳）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日
確保方策型（計画値）	B	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
利用状況（実績値）	C	0人日	0人日			

〈現在〉平成28年度はショートステイの希望はなく、※トワイライトステイの希望のみでした。

〈今後〉核家族の増加等により育児を家庭内だけで担えない場合も増えることが予想され、今後は、施設利用等の保育サービスだけでなく地域内での子育ての助け合いを支える必要があると考えます。

実施状況

市外の児童養護施設「済昭園」（嬉野市）に受け入れを行ってもらっています。
平成28年度実績：ショートステイ 0件
トワイライトステイ 11件

※トワイライトステイとは、就労等の理由により休日、夜間に保護者不在となる家庭の児童を保護し、生活指導、食事の提供等を行うことです。

子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

子育て中の保護者を会員として、子どもの預かり等の援助を受けたいものと援助を行いたいものとの相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日／年間）

対象年齢（0歳～5歳児）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日
確保方策型（計画値）	B	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日
利用状況（実績値）	C	0人日	0人日			
対象年齢（小学1年生～6年生）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	D	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日
確保方策型（計画値）	E	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日
利用状況（実績値）	F	0人日	0人日			

〈現在〉 来年度からの事業開始に向け準備を行っています。

〈今後〉 来年度からの事業開始を予定しています。

実施状況

本年は、事業開始に向けた準備として、サポーター養成講座を行いました。全12回の講座に延べ231名の参加者がありました。

病児・病後児保育事業

急な病気や病気からの回復期などで、集団保育が困難な子どもを医療機関等の専用施設で一時的に預かり看護及び保育を行います。

■量の見込みと確保方策

(単位：人日／年間)

対象年齢（0歳～5歳児、小学1年生～6年生）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	1943人日	1943人日	1892人日	1855人日	1815人日
確保方策型（計画値）	B	50人日	50人日	50人日	50人日	50人日
利用状況（実績値）	C	28人日	44人日			

〈現在〉 嬉野市及び江北町と契約を締結し、2カ所の小児科へ市内児童の受入れについて委託しました。

〈今後〉 保護者の通勤経路の関係上、利用圏域が限られるため、市内での実施に向けた施設整備を含めた事業費の確保と実施方法の検討が課題となっています。

実施状況

利用者は増加傾向です。
平成28年度実績（平成29年1月末現在）
鹿島市在住の方が嬉野市の医療機関を利用した人数は16人、江北町では28人です。

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

保護者の就労や疾病等の理由で、放課後に家庭でみることができない小学生を
預かり遊びや生活支援を通して児童の安全確保や健全育成を図る事を目的と
した事業です。各小学校で事業を行います。

鹿島小校区

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

低学年（1～3年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	72	78	75	77	70
確保方策型（計画値）		B	79	80	79	79	79
確保状況（実績値）		C	76	90			
過不足	量の見込み（C-A）		4	12			
	確保方策（C-B）		△3	10			
進捗率	量の見込み（C/A）		106%	115%			
	確保方策（C/B）		96%	113%			

高学年（4～6年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	9	8	9	9	9
確保方策型（計画値）		B	9	8	9	9	9
確保状況（実績値）		C	4	8			
過不足	量の見込み（C-A）		△5	0			
	確保方策（C-B）		△5	0			
進捗率	量の見込み（C/A）		44%	100%			
	確保方策（C/B）		44%	100%			

〈現在〉定員40名の2施設に加えて今年度から定員18名の1施設（定員総数98名）で確保を行っております。

〈今後〉計画値の量の見込みを超えてきていますので、確保方策を検討します。

実施状況

わんぱくクラブリス組（定員40名）とわんぱくクラブパンダ組（定員40名）、
新設クラブわんぱくクラブキリン組（定員18名）で実施しております。

明倫小校区

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

低学年（1～3年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	90	78	84	83	88
確保方策型（計画値）		B	110	110	109	110	112
確保状況（実績値）		C	100	100			
過不足	量の見込み（C-A）		10	22			
	確保方策（C-B）		△ 10	△ 10			
進捗率	量の見込み（C/A）		111%	128%			
	確保方策（C/B）		91%	91%			

高学年（4～6年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	11	11	12	11	9
確保方策型（計画値）		B	11	11	12	11	9
確保状況（実績値）		C	10	10			
過不足	量の見込み（C-A）		△ 1	△ 1			
	確保方策（C-B）		△ 1	△ 1			
進捗率	量の見込み（C/A）		91%	91%			
	確保方策（C/B）		91%	91%			

〈現在〉定員35名の2施設と定員40名の1施設（定員総数110名）で確保を行っております。

〈今後〉利用希望者が計画値の量の見込みを超えてきていますので、確保方策を検討します。

実施状況

ほがらかAクラブ（定員35名）とほがらかBクラブ（定員35名）とげんきクラブ（定員40名）で実施しております。

浜小校区

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

低学年（1～3年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	27	28	30	32	31
確保方策型（計画値）		B	20	20	20	20	20
確保状況（実績値）		C	21	55			
過不足	量の見込み（C-A）		△6	27			
	確保方策（C-B）		1	35			
進捗率	量の見込み（C/A）		78%	196%			
	確保方策（C/B）		105%	275%			

高学年（4～6年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	3	3	3	3	3
確保方策型（計画値）		B	3	3	3	3	3
確保状況（実績値）		C	0	5			
過不足	量の見込み（C-A）		△3	2			
	確保方策（C-B）		△3	2			
進捗率	量の見込み（C/A）		0%	167%			
	確保方策（C/B）		0%	167%			

〈現在〉定員21名の1施設に加えて、4月より定員39名の1施設（定員総数60名で確保を行っております）。

〈今後〉量の見込を上回る定員数を確保できているので、現在の定員数を維持することとします。

実施状況

光の子クラブA（定員21名）と新設クラブ光の子クラブB（定員39名）で実施しております。

古枝小校区

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

低学年（1～3年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	37	38	35	36	38
確保方策型（計画値）		B	38	38	38	38	38
確保状況（実績値）		C	48	48			
過不足	量の見込み（C-A）		11	10			
	確保方策（C-B）		10	10			
進捗率	量の見込み（C/A）		130%	126%			
	確保方策（C/B）		126%	126%			

高学年（4～6年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	4	4	4	4	4
確保方策型（計画値）		B	4	4	4	4	4
確保状況（実績値）		C	4	4			
過不足	量の見込み（C-A）		0	0			
	確保方策（C-B）		0	0			
進捗率	量の見込み（C/A）		100%	100%			
	確保方策（C/B）		100%	100%			

〈現在〉定員39名の1施設と定員13名の1施設（定員総数52名）で確保を行っております。

〈今後〉平成29年度中に学校敷地内に専用施設（定員35名の2クラブ）を建設予定です。

実施状況

ひまわりAクラブ（定員39名）とひまわりBクラブ（定員13名）で実施しております。

北鹿島小校区

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

低学年（1～3年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	39	40	39	37	39
確保方策型（計画値）		B	42	42	42	42	42
確保状況（実績値）		C	40	40			
過不足	量の見込み（C-A）		1	0			
	確保方策（C-B）		△2	△2			
進捗率	量の見込み（C/A）		103%	100%			
	確保方策（C/B）		95%	95%			

高学年（4～6年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	4	4	4	4	4
確保方策型（計画値）		B	4	4	4	4	4
確保状況（実績値）		C	2	2			
過不足	量の見込み（C-A）		△2	△2			
	確保方策（C-B）		△2	△2			
進捗率	量の見込み（C/A）		50%	50%			
	確保方策（C/B）		50%	50%			

〈現在〉定員42名の1施設で確保を行っております。

〈今後〉確保方策の進捗は達成できておらず、量の見込を上回る定員数を確保できておりません。今後の施設利用状況を踏まえて確保方策を検討します。

実施状況

かがやきクラブ（定員42名）で実施しております。

能古見小校区

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

低学年（1～3年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	37	34	30	26	28
確保方策型（計画値）		B	38	38	38	38	38
確保状況（実績値）		C	35	35			
過不足	量の見込み（C-A）		△2	1			
	確保方策（C-B）		△3	△3			
進捗率	量の見込み（C/A）		95%	103%			
	確保方策（C/B）		92%	92%			

高学年（4～6年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	4	4	4	4	4
確保方策型（計画値）		B	4	4	4	4	4
確保状況（実績値）		C	4	4			
過不足	量の見込み（C-A）		0	0			
	確保方策（C-B）		0	0			
進捗率	量の見込み（C/A）		100%	100%			
	確保方策（C/B）		100%	100%			

〈現在〉定員39名の1施設で確保を行っております。

〈今後〉今後の量の見込みでは利用状況が減少するので現在の定員数を維持します。

実施状況

すぎの子クラブ（定員39名）で実施しております。

能古見小校区（浅浦分校）

■量の見込みと確保方策

（単位：人）

低学年（1～3年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	2	1	2	2	2
確保方策型（計画値）		B	10	10	10	10	10
確保状況（実績値）		C	10	10			
過不足	量の見込み（C-A）		8	9			
	確保方策（C-B）		0	0			
進捗率	量の見込み（C/A）		500%	1000%			
	確保方策（C/B）		100%	100%			

高学年（4～6年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	0	0	0	0	0
確保方策型（計画値）		B	0	0	0	0	0
確保状況（実績値）		C	0	0			
過不足	量の見込み（C-A）		0	0			
	確保方策（C-B）		0	0			
進捗率	量の見込み（C/A）		100%	100%			
	確保方策（C/B）		100%	100%			

〈現在〉定員10名の1施設で確保を行っております。

〈今後〉平成29年度の入部申込者はありません。

実施状況

たんぽぽクラブ（定員10名）で実施しております。
分校のため低学年のみの利用状況です。

七浦小校区

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

低学年（1～3年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	24	22	25	24	26
確保方策型（計画値）		B	39	39	39	39	40
確保状況（実績値）		C	36	36			
過不足	量の見込み（C-A）		12	14			
	確保方策（C-B）		△3	△3			
進捗率	量の見込み（C/A）		150%	164%			
	確保方策（C/B）		92%	92%			

高学年（4～6年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	3	3	3	3	2
確保方策型（計画値）		B	3	3	3	3	2
確保状況（実績値）		C	3	3			
過不足	量の見込み（C-A）		0	0			
	確保方策（C-B）		0	0			
進捗率	量の見込み（C/A）		100%	100%			
	確保方策（C/B）		100%	100%			

〈現在〉定員39名の1施設で確保を行っております。

〈今後〉量の見込みを上回る定員数を確保しておりますので、現在の定員数を維持します。

実施状況

ゆめっ子クラブ（定員39名）で実施しております。

七浦小校区（音成分校）

■量の見込みと確保方策

（単位：人）

低学年（1～3年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	6	5	8	8	6
確保方策型（計画値）		B	15	15	15	15	15
確保状況（実績値）		C	15	15			
過不足	量の見込み（C-A）		9	10			
	確保方策（C-B）		0	0			
進捗率	量の見込み（C/A）		250%	300%			
	確保方策（C/B）		100%	100%			

高学年（4～6年）			H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）		A	0	0	0	0	0
確保方策型（計画値）		B	0	0	0	0	0
確保状況（実績値）		C	0	0			
過不足	量の見込み（C-A）		0	0			
	確保方策（C-B）		0	0			
進捗率	量の見込み（C/A）		100%	100%			
	確保方策（C/B）		100%	100%			

〈現在〉定員15名の1施設で確保を行っております。

〈今後〉量の見込みを上回る定員数を確保しておりますので、現在の定員数を維持します。

実施状況

星の子クラブ（定員15名）で実施しております。
分校のため低学年のみの利用状況です。